

■After 建築名称 下段: 英語名	バジリカ Basilica Palladiana <a href="#">建築URL</a>		
建築用途	大分類 集会施設	小分類 多目的ホール	
設計者	アンドレア・パツラーディオ (Andrea Palladio)		
所在地	Vicenza, Italy	<a href="#">Google Map</a>	
改修年	1549-1617年	元建築の竣工年 15世紀初頭	
建築規模 構造・階数・面積			
掲載書誌			
賞・選定			
主な関連法規、条例、助成金等			
関連組織等			
資料等	<a href="#">ヴィチエンツァ市公式ホームページ</a>	<a href="#">資料のURL</a>	After ヴィチエンツァの象徴的存在であるバジリカ
■Before 建築名称	パラッツォ・デッラ・ラジオーネ (Palazzo della Ragione)		概要 before 15世紀初頭に、ゴシック様式の市庁舎として建設された。しかし、構造上の問題から一部が崩壊し、再建の必要性があった。
建築用途	大分類 公共施設	小分類 市庁舎	
■写真 Before	After	2階の柱廊の様子。左手の壁は旧庁舎。	After ルネッサンス様式のロτζィア(柱廊)が付加された
No Photo			
撮影者 提供者	撮影者 提供者	撮影: 柳沢伸也	撮影者 提供者 撮影: 柳沢伸也
■関連タグ/リノベーションキーワード	補強、増築、対比、用途変更		
■リノベーション内容	<p>ヴィチエンツァの歴史地区、シニョーリ広場に面して建つバジリカ・パツラーディーナは、ルネサンス建築の巨匠アンドレア・パツラーディオの代表作として広く知られている。もとは15世紀初頭にゴシック様式の市庁舎として建設されたが、構造的な不安定さや外観の不統一が長らく課題となっていた。</p> <p>1546年、地元出身の若き建築家パツラーディオの改修案が採用される。彼は既存の建物を残しつつ、全体を二層のロτζィアで包み込むという革新的な構想を提案。セルリアナ様式(アーチと矩形の開口部を組み合わせたデザイン)を用いたその外観は、古典の秩序を現代の公共建築に巧みに取り入れ、構造的な不均衡さを美しく覆い隠す役割も果たした。</p> <p>第二次世界大戦中に屋根が損傷を受けたものの、戦後には元の意匠を尊重しつつ忠実に再建されている。さらに2007年から2012年にかけては、構造的安定性と美観のさらなる向上を目的とした大規模修復が実施された。屋根構造は軽量な集材材アーチへと刷新され、外壁の洗浄・補強、新たな照明設備の導入などを通じて、歴史的建築としての威厳を保ちながら、現代的な活用にも対応する空間へと生まれ変わった。</p>		
■備考	1994年にユネスコの世界遺産リストに登録された。 2007-2012年にかけての修復プロジェクトは、ヨーロッパ連合文化遺産賞 (Europa Nostra Award) を受賞し、その保存活動が高く評価されている。		
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会	作成協力者	整理番号 No. 206